環境負荷低減に向けた取り組み

三社電機グループ 環境方針
https://www.sansha.co.jp/csr/environment.html

三社電機グループは、気候変動への対応を、事業活動に伴う環境負荷を低減するための重要な経営課題であると同時に、当社グループの技術を生かして新たな価値を創出する事業機会と捉えています。パワー半導体技術および電力変換・制御技術を生かした高効率な製品・サービスの提供を通じて、お客様の省エネルギー化やCO_2排出量削減に貢献するとともに、再生可能エネルギー、データセンター、産業機器など、脱炭素化や電力需要の拡大が進む市場における事業機会の獲得につなげていきます。また、自社の事業活動においても2030年度までにCO_2排出量を2013年度比46%削減し、2050年カーボンニュートラルの実現を目指します。こうした取り組みを通じて、環境負荷の低減と事業成長の両立を図り、持続的な企業価値向上につなげていきます。

1 事業活動における環境負荷の低減（Scope1・2）

2030年度までにCO_2排出量を2013年度比46%削減、
2050年カーボンニュートラル達成を目標に継続的な取り組みを推進しています。

● 設備の更新・効率化

受電トランス・空調設備等の更新や電化により、エネルギー使用の最適化を進めています。

● 照明のLED化

社内の照明を順次LED化し、使用電力量の削減を推進しています。

● 再生可能エネルギーの活用

岡山工場および一部子会社への太陽光発電設備導入と、再生可能エネルギー由来電力の購入を推進します。

● 評価の取得

継続的な省エネルギー活動が評価され、経済産業省の「省エネ優良事業者（Sクラス）」認定を取得しました。

※ CO_2排出量の推移などの詳細データは、P43「非財務データ（環境）」をご覧ください P43

2 製品・サービスを通じた環境価値の創出

高効率なパワー半導体や電源機器の開発を通じて、省エネルギー化とCO_2排出量削減に貢献し、成長市場での事業機会につなげています。

● 高効率・高信頼の製品開発

SiCパワー半導体や高効率電源の開発を通じて、省エネルギー化に貢献し、成長市場での事業拡大につなげます。

● 幅広い分野での活用

再生可能エネルギー、データセンター、産業機器など、脱炭素化や電力需要の拡大が進む成長分野へ製品展開を進めています。

● 製品によるCO_2削減貢献

当社製品の使用により、お客様の電力使用量削減とCO_2排出量削減に貢献できるよう、技術開発とソリューション提案を強化しています。

● お客様・社会との連携

お客様やパートナー企業との連携を強化し、バリューチェーン全体で脱炭素化を推進していきます。

環境マネジメントの強化

Scope3算定の推進

サプライチェーンのGHG排出量把握に向け、Scope3算定を進めています。カテゴリ1（購入品・サービス）、カテゴリ4（上流の輸送・配送）、カテゴリ11（製品の使用）、カテゴリ12（製品の廃棄）を算定し、今後も対象拡大と算定体制の整備を進めます。

製品含有化学物質の管理

製品の法規制対応のため、RoHS指令、REACH規則、化審法などの最新法令に対応した化学物質管理を徹底しています。サプライチェーン全体で情報収集・管理を行い、環境負荷の低減と法令遵守を推進しています。

水資源・水質保全の推進

水使用量の原単位改善に取り組むとともに、岡山工場では廃水を適切に処理し、法規制よりも厳しい自社基準を満たした上で排出しています。定期的な水質検査と継続的な改善により、水資源の有効活用と水環境の保全に努めています。